



愛知用水通水50周年記念

愛知用水の碑写真集



1961年9月30日 通水を喜ぶ人々

2011年3月

独立行政法人 水資源機構 愛知用水総合管理所

<http://www.water.go.jp/chubu/aityosui/>

はじめに

世紀の大事業、愛知用水が完成して50年。愛知用水には、建設中に亡くなられた方を祀る慰霊碑や完成記念の碑が、牧尾ダム、兼山取水口、愛知池周辺などに数多く設置されました。愛知用水通水開始50周年を記念して、写真を中心とした

「愛知用水の碑写真集」を作成しました。

愛知用水に携わった先人の偉業、事業に支援・協力頂いた方々及び豊かに水を利用できることに感謝し、この50周年を契機に、今一度、愛知用水の恩恵、水源地域への感謝の思いを再確認し、水の絆を未来に繋げていきましょう。

2011年4月 愛知用水総合管理所

注：碑文等の漢字・数字は、刻字を基本にしましたが、読みやすくするため当用漢字、アラビア数字、横書きとしたものもあります。また、本文中の市町村名は、碑の建設時点で記載しました。

目 次

はじめに

I	牧尾ダム記念碑等	p 1～
II	兼山取水口記念碑等	p 5～
III	松野池記念碑	p 7
IV	三好池記念碑等	p 7
V	愛知池（東郷調整池）記念碑等	p 8～
VI	佐布里池	p 15～
VII	愛知用水感謝の碑（阿久比町）	p 20
VIII	入鹿池記念碑	p 21
参考	愛知用水の書籍等	p 22

おわりに



柄杓で水をまいた昭和の時代



整備された愛知用水通水後の畑地

1 牧尾ダム記念碑等（長野県木曾郡三岳村大字和田 7696 - 1（牧尾ダム管理所構内）

1 牧尾ダム建設時殉職者慰霊碑

（表面）

慰 霊

上部（みがき部分）150 × 70 cm

材料 花崗岩（みがき加工）



慰霊碑と遺族(S36年)



慰霊碑除幕式（同年）



（裏面）

殉職者氏名（21名）

押切亀吉 渡辺繁治 西田敏雄 高橋昭三 西岡武夫 河村 襄 大森益次郎
鷹尾繁隆 板谷照雄 高山良清 笈島 勇 相良 勇 山崎儀三郎 石川 薫
田地正男 駒形勝重 塔本末蔵 神成幸雄 阿部忠明 菅原一雄 吉田政一

企業者 愛知用水公団

牧尾ダム工事施工 西松建設株式会社

森林鉄道付替工事施工 飛鳥土木株式会社 三井建設株式会社 株式会社岡谷組

昭和36年5月建之

○慰霊祭名称 愛知用水建設殉職者慰霊祭・水源感謝祭

時期 毎年7月中旬（吉日）

祭式 仏式と神式を一年交替で実施する。17年度は仏式で王滝村鳳泉寺から住職2名

主催者 愛知用水講 蟹江会長、愛知用水講会員（全46名）

水機構 愛知用水総合事業部牧尾支所 支所長他5名

地元 王滝村、三岳村、木祖村 3村長 他3議会議員（平成17年実績）

毎年7月になると愛知用水講による「愛知用水建設殉職者慰霊祭及び水源感謝祭」が牧尾ダム慰霊碑前で実施される。愛知用水講は、愛知用水の建設にご尽力された故久野庄太郎氏の提案により、愛知用水建設中に亡くなられた殉職者の方々等を祀るために慰霊碑を建立し、祀り、護っていくことを目的に、知多市を中心とする愛知用水受益者で組織されており、会員数は約600人となっています。平成9年からは、味噌川ダムに係る木祖村も参加しています。

また、毎年5月、11月には、佐布里池湖畔の愛知用水神社・水利観音春季祭、秋季大祭として殉職者の法要が行われています。

2 牧尾ダム完成記念碑

材料 碑体 台座 砂岩（自然石）
笠石 花崗岩（みがき加工）

碑文（表）

愛知用水公団
牧尾ダム
西松建設株式会社



（裏）

工事関係者氏名
愛知用水公団 総裁 濱口雄彦
工事担当理事 瀬戸忠武
堰堤事業所長 畔柳嘉男
エリックフローア会社 主任技師 ハリーアールリブナー
西松建設株式会社 社長 西松三好
中部支店長 高橋勝雄
牧尾工事事務所長 岡 一衛
建之年月日 昭和36年5月28日

3 御岳湖碑石

建之年月日 昭和36年5月28日



材料 砂岩（高1.6m×幅2.2m×厚1.2m）
誌（木版の記述）

昭和36年3月末このダムの完成近くなり 愈々湛水開始の時を迎えましたが 当日まで活躍した掘削機を河床から待避移動させる途中 堤体前面（上流側）の急坂で故障して動かなくなり 遂に30米の水中に没するの止むなきに至りました。後日引き揚げた際、この大きな石が掘削機のキャタピラの上に乗って浮上しましたが それは恰も水中に眠るのをいとうが如くでした。
依って 姿 大きき共に申し分のないこの石を碑石として使用いたしました。

碑文（表）



御岳湖
 まなかひにたたへられた
 木曾の水は 百年の
 夢をうつつに 新らしい
 河を流れゆく
 ゆくてに幸 多かれ
 昭和三十六年五月廿八日
 濱口 雄彦 書
 （愛知用水公団総裁）

碑文（裏）

ダム記念誌

愛知用水公団

昭和 38 年 5 月 28 日 建立

愛知用水公団は、木曾川水系の水資源を総合的に開発しその利用の高度化を図るため、昭和 30 年 10 月 10 日に設置された。公団はその目的を達するため、主要水源工事である牧尾ダム、幹線水路、支線水路および調整池などの大規模かんがい施設の新設、管理ならびに開田、開畑等の事業を行うものである。また公団は関連事業である発電、上水道用水および工業用水事業に対し融資するとともに、これらの事業に必要な用水を供給するものである。

下段左側

牧尾ダム建設の主たる経過

- 昭和 31 年 3 月 15 日 堰堤事務所を設置す
- 同年 5 月 4 日 米国エリックソン社と技術援助協定を締結す
- 昭和 32 年 8 月 9 日 国際復興開発銀行と借款協定を調印す
- 同年 12 月 仮排水路工事を開始し、牧尾ダム工事の第一歩を印す
- 同月 21 日 鍬入れ式を挙げる
- 昭和 33 年 6 月 11 日 補償協定を締結す
- 昭和 34 年 8 月 17 日 築堤を開始す
- 同月 20 日 定礎式を挙げる
- 昭和 36 年 2 月 28 日 築堤を完了す
- 同年 4 月 26 日 湛水を開始す
- 同年 5 月 28 日 牧尾ダム完工式を挙げて「御岳湖」と命名す



下段右側

牧尾ダムの諸元

- 河川名 木曾川水系王滝川
- 築堤位置 長野県西筑摩郡王滝村 三岳村
- 流域面積 304 km² 直接流域 73 km² 間接流域 23 km²
- 湛水面積 2.4 km²
- 満水位標高 880 m

総貯水量	75,000,000 m ³
有効貯水量	68,000,000 m ³
ダム型式	中心コア型ロックフィルダム
堤頂標高	885 m
堤高	河床上81 m 基礎岩盤上106 m
堤頂長	264 m
堤体積	2,615,000 m ³
ロック層	956,000 m ³
トランジション層	1,075,000 m ³
フィルター層	114,000 m ³
中心コア層	194,000 m ³
上流部仮締切ダム	276,000 m ³
余水吐	型式 シュート式余水吐
	ゲート テンターゲート4門 (10m)

4 愛知用水通水30周年記念碑

建之年月日 平成3年8月28日

主旨 愛知用水サミット宣言に基づき、水源地である長野県王滝村、三岳村に感謝するとともに、水の大切さを改めて思い起こそうと、牧尾ダムで水源地の集いが開催された。



子供たちの目は、受益地である知多半島へ向いている。

5 牧尾ダム堆砂対策事業完工の碑



碑文 共生

愛知用水二期事業促進期成同盟会会長
(伴武量氏：写真)の揮毫による

上下流（水源地～知多半島先端まで）
の共存共栄の願いをこめて「共生」

平成18年10月19日除幕